

令和3年11月10日

令和3年度第3回理事会(役員会)議事録

【開催日時】

令和3年11月10日(水)14:00-16:30

【開催方法】

オンライン(Zoom)にて実施

【出席者】

安原代表、岸田、田中、小浪、丸山、伴、須田(事務局) 7名出席
(敬称略)

【審議事項】

1. 新入会員(個人会員, 協会員)承認 …【資料 21-03-01】
安原代表より、新たに3名の個人会員、協会の申し込みがあったことの紹介があり、全会一致で承認された。
2. 総会から提起された事項の検討 …【資料 21-03-02】
安原代表より、当法人の社員およびその議決権について、『「地域国土強靱化研究所」研究会等運営規定』および「地域国土強靱化研究所内規」についての改正提案があった。丸山監事より、これまでの検討経緯の説明があり、意見として運営規定における社員の定義については、定款にあることから特に記載の必要がないこと、したがって、第4条は削除すること、また内規については議決権の考え方を示した内容で妥当である旨発言があった。
以上の議論を踏まえ、内規について提案通り改正することとなった。
3. 社会インフラテック展示会への出展について …【資料 21-03-03】
田中理事より、「社会インフラテック展示会」への出展概要および準備状況の説明があった。安原代表より、LIRI会員企業の関与についてご意見があり、会員企業1社当たり1つのカタログあるいはパンフレットの配置について、要望がありその方向で準備調整することとなった。その他準備についても、LIRIポスターを含めIRT研究会が主となって進めることで了承された。
4. 令和3年度の事業の分担 …【資料 21-03-04】
安原代表より、今後の事業運営に関する体制の提案があり、新たな加入会員の協力を求めること等承認された。なお、小浪理事より「気候変動対応事業」に対応する記載がないことの指摘があり、安原代表より外部状況、連携を含めて、法人内体制検討を進めたい旨回答があった。
5. 第2回技術者講座(土研センターとの連携)の実施計画と内容検討
… 【資料 21-03-05】
安原代表より、これまでの経緯、調整状況の説明があり、基本的な実施内容について了承された。
また、岸田副代表理事より、テーマ発表について安原代表の講演(「気候変動対応」に対する考え方等)を入れて欲しいとの要望があり、各理事の意見を踏まえ、土研センター常田顧問との兼ね合いも含め、大きな観点からの話題提供を安原代表が検討することとなった。
参加費について、テキスト作成も考えながら、前回より低廉なものとするのが了承された。

6. 日刊建設工業新聞社インタビュー ……【資料 21-03-06】

安原代表より、取材経緯と内容の照会があった。

その中で、取材社要望の対応について、会員企業訪問については、HPにて公開情報であることから、役員会として、特段の対処はせず、会員企業での対応として頂くことが了承された。小浪理事、伴理事より、今回の取材をきっかけとして、LRRIの広報活動、イベント周知等として、財務状況を考慮しながら、取材社との連携についても考慮して欲しい旨、意見があった。

7. フォーラム「気候変動対応研究&技術の展望」

～地域における取り組みを活性化するために～ ……【資料 21-03-07】

安原代表より、これまでの経緯と調整状況について説明があった。

開催概要、実施内容については基本了承された。主催、後援の考え方についても安原代表の意向を確認した。その上で、今後の茨城大学との打ち合わせの中で、経費および参加費等についても、検討される旨了承された。

8. 気候変動適応策に関する委託業務 ……【資料 21-03-08】

安原代表より、これまでの経緯と概要の説明があり、本業務委託は本法人にとっても有益なものであることを確認し、予算規模に応じた内容を今後調整することで承認された。

【報告事項】

1. エナジー&エコロジー・防災セミナー(E&E・防災セミナー)第 18 回の実施 (NPO ブルーアース、地盤品質判定士会神奈川支部との共同主催) ……【資料 21-03-09】
岸田副代表理事より、標記セミナーについて、参加状況等(行政機関の参加について)中間報告があった。なお、引き続き協力を得たい旨、要請があった。
2. 「茨城県建設コンサルタンツ協会」技術研修会への参加報告
安原代表より、LRRI 会員も含めて、多くの参加があり、成功裏に終え、有意義であった旨報告があった。
3. LRRI 関連技術の集約
安原代表より、これまでの状況および今後の進め方について、説明、報告があった。すでに集約されたものを含めて以下の LRRI 関連技術を集約し 11 月中を目指して HP にアップ予定。
 - ・インフラリハビリ技術(IRT)
 - ・インフォメーション、コミュニケーション&ロボット技術(ICRT)
 - ・気候変動対応技術(CCRT)
 - ・地盤改良・地盤補強技術(SI&ERT)

最後に安原代表理事より、業務の増加に伴い、役員会の開催頻度等検討したい旨あり、確認後散会となった。

(以上)

〔議事録作成者 須田〕